

「LaundryRoomNo. 5」

ME：O 終わり

切り替わりで、遊園地で流れるような音楽。

舞台上に映像が映る。ネッキーランドのロゴ。

NA「今日はネッキーランドにご来場いただき、誠にありがとうございます。

ネッキーランドは、夢と魔法の国。メインキャラクターのネッキーや、その友達の、ゴブリンコブラなど、たくさんの仲間たちが、お客様と戯れるのを、楽しみにしています。当ランドは5つのエリアに分かれております。冒険好きなみんなの為にトレジャーエリア、不思議な世界が待っているファンタジーエリア、殺し合いのサバイバルエリア、おいしいものがたくさんパラダイスエリア、おいしいものが一つだけ、パエリア。

夜は中央にそびえたつ巨大観覧車、ネッキーサイクロンから、100万ネッキーの夜景をお楽しみください。ネッキーランドを楽しむために、いくつかのお願いがございます。まず、携帯電話、音の鳴る電子機器は、ネッキーに有害な電磁波を与え、ネッキーの首のタダレ、ストレス性の抜け毛などの原因になりますので、電源からお切りください、また、開演中の私語、飲食、喫煙などは、ネッキーに有害な電磁波を与え、首のタダレ、ストレス性の抜け毛などの原因となりますので、ご遠慮いただきますようお願いいたします。気分が悪くなったお客様は、お近くのゲボ処理係に……」

ピンが仮面をつけたシャボン（田中）につく。

シャボンはシャボン玉をぷく〜っと作っているが、観客に見られている事に気が付いて。

シャ「あ……、どうも、ネッキーランドのファンタジーエリアにあります。

魔法のランドリー支配人のシャボンです。

ネッキーランドは、夢と魔法の国でした。

惜しい場所をなくしてしまいました。

まあ、何事も、突然の出来事で、終わってしまうものです。

あ、そうか、説明しないとわかりませんか？

それが私の役割でした。このネッキーランドは、潰れてしまったのです。

ネッキーランドの中央に位置していた巨大観覧車、

ネッキーサイクロンが倒れるという大事故が起こってしまった為です。

（宙に浮かぶシャボン玉を見て）たくさんのものが消えました。

でも大丈夫。なくしたものは忘れてしまえます。  
え？忘れたくない？それなら、どうぞ、魔法のランドリーへ。  
魔法のランドリーは皆さんの、みな、みなさん、みな、みなな、  
なみみ、なみ、なななな」

SE ギギギージジジ

壊れて止まるシャボン（しばらく止まっていられる体制で）。  
止まったシャボンを見る目ている男。  
足立コウジ（青木）、通称ハットである。

ハッ「あ・・・止まった。やっぱ壊れてんのかあ・・・。  
つ～か、怖え！！みな、みなな、みなみな、みな・・・  
廃屋って、やっぱ怖えわ。平気だと思ったんだけどなあ・・・」

SE 時計が鳴る「ボ～ン」

びくっとするハット。

ハッ「やめろよ～！！廃屋と時計の組み合わせはないわあ・・・。  
（自分の腕時計見て）時間か・・・廃屋のくせに正確なのかよ・・・」

懐中電灯で、いろいろと照らす。ランドリールームである。  
ブレイカーを見つけて、つける。照明が入る。

ハッ「きったね・・・」

その辺のものを触ったりする。ブラジャーを見つける。

ハッ「は？誰だよこんなもん置いたの・・・。なんだよこれ、  
ブラジャーじゃん・・・え？そうかランドリーの設定だから？  
え？まじでか・・・。」

おもむろにブラジャーをつけ始める。

ハッ「っへえ～、女子ってそうなんだあ～・・・あ、案外こう、

締め付けが」

SE扉が開く音。

ハッ「ヌーブラっつ～のあったなそういえば、あれは、どういう・・・」

西野アツヒロ（白鳥）、通称ホースが入ってきて。

ホー「ゴホッゴホッ、埃くさ！！埃がすげえ！あ、いたいた、ハット！！」

ハッ「え？おお！！」

ホー「ハット・・・・・・・・」

ハッ「ホース、久々だな」

ホー「・・・・・・・・おい、やめろよ」

ハッ「なにがだよ」

ホー「おかしいと思ったんだよ。そりゃあさ、幼馴染のハットが久々に

この街に帰ってくるって、連絡くれてさあ！！俺はうれしかったよ！！

そうだよな、俺たち、いつまでも友達だよなって。

でもさあ、なんか、指定された場所が？もう閉園したネッキーランドの、

魔法のランドリーの場所で。え？って・・・・・・・・え？なんで？って思ったけどさ。

ま、たしかに、ここは俺たちの青春の場所でもあるわけだ。懐かしいなあって。

そかそか、まあ、ギリギリ？そういう？飲み込み方をして、やってきたわけだ！！

俺は！！それなのにお前は！！」

ハッ「お前長々と何言ってるんだよ」

ホー「何言ってるんだよじゃねえよ！！お前最初からそのつもりだったな？」

ハッ「何がだよ？」

ホー「お前は！！オカマちゃんだったんだな！？そんでもって俺の事好きだったんだな？

だから貴様はあ、このような廃屋に俺を誘い込み！！破廉恥な事をするつもり

だったんだなあ！？」

ハッ「(近づいて) は？そんなわけねえだろ！！」

ホー「来るんじゃねえ！！(逃げる)」

ハッ「なんだよ、お前」

追いかけてここが始まる。

ホー「やめろお！！！！寄るなあ！！」